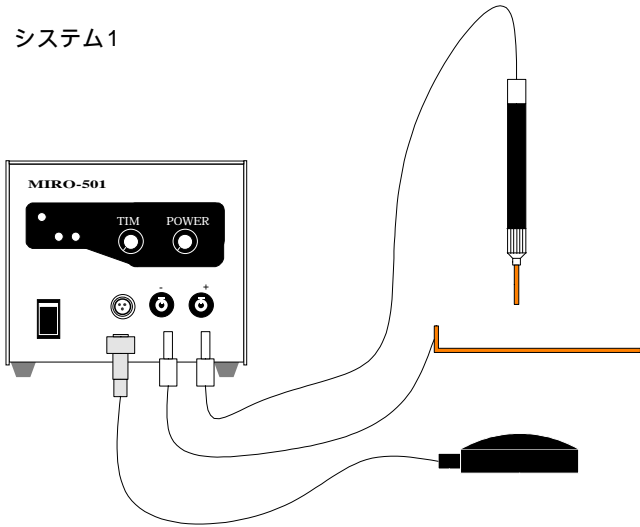


MIRO501主な溶接システムと溶接例

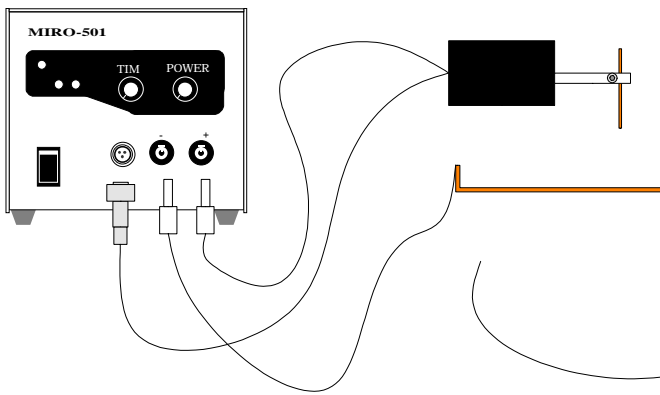
システム1



もっともシンプルなシステム。
ペンシルヘッドとアース板、フットスイッチ。
アース板にワークを重ねて置いて、ペンシルヘッドで手で加圧しながらフットスイッチで通電する。

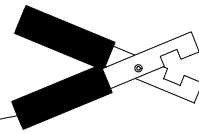
パルスヒートのモリブデンヒーター電極に熱電対を取付けたりするときにも使用できます。

システム2



通電スイッチ内蔵ハンドセット
一定の加圧のところで通電スイッチが入るハンドセット (MHST-04)
アース板の上での作業のみならず、狭い場所や大きいワークへの溶接も便利。

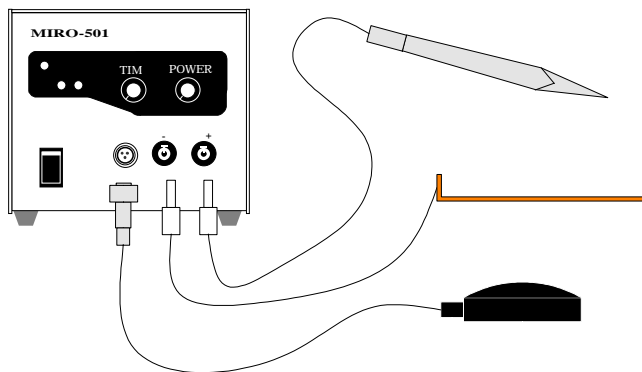
熱電対やひずみゲージなどのセンサの溶接、フープ材の接合や貴金属の仮付け溶接などに適しています。



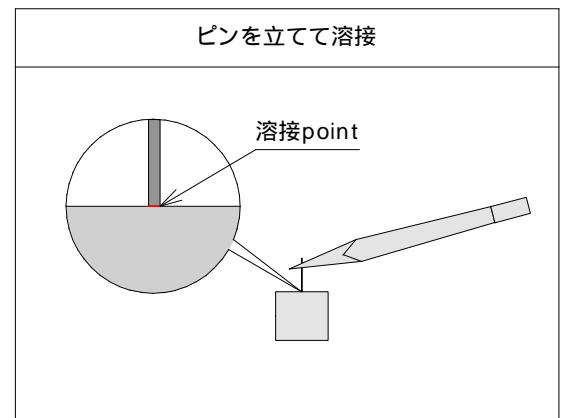
システム1、システム2共通
アース板の代わりにクランプ式アースを使用すれば、大きなワークへの溶接が可能になります。用途によって選択することが可能。

薄い板をつなげるとき	はぎれの当てのように溶接	ヒーターチップに熱電対	金属柱にワイヤーを溶接
<p>溶接point 5点</p>	<p>溶接point 10点</p>	<p>溶接point</p>	<p>溶接point</p>

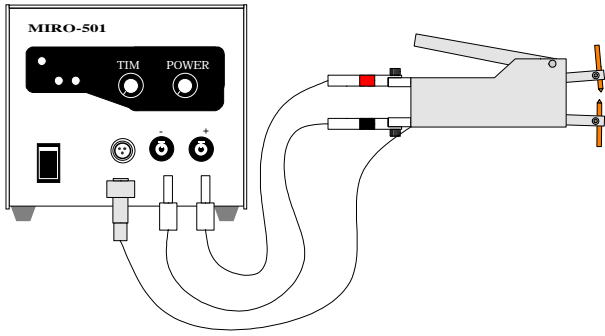
システム3



ピンセットタイプのハンドセット
ピンなどを立てて溶接するときに便利

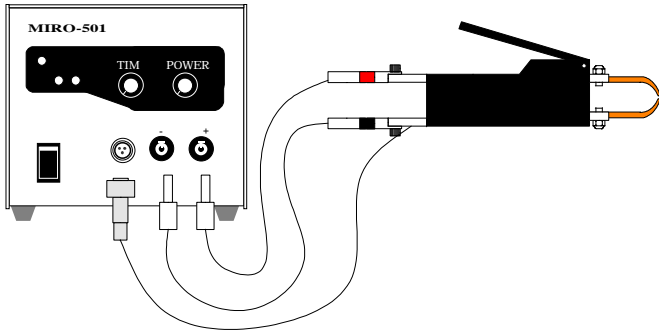


システム4



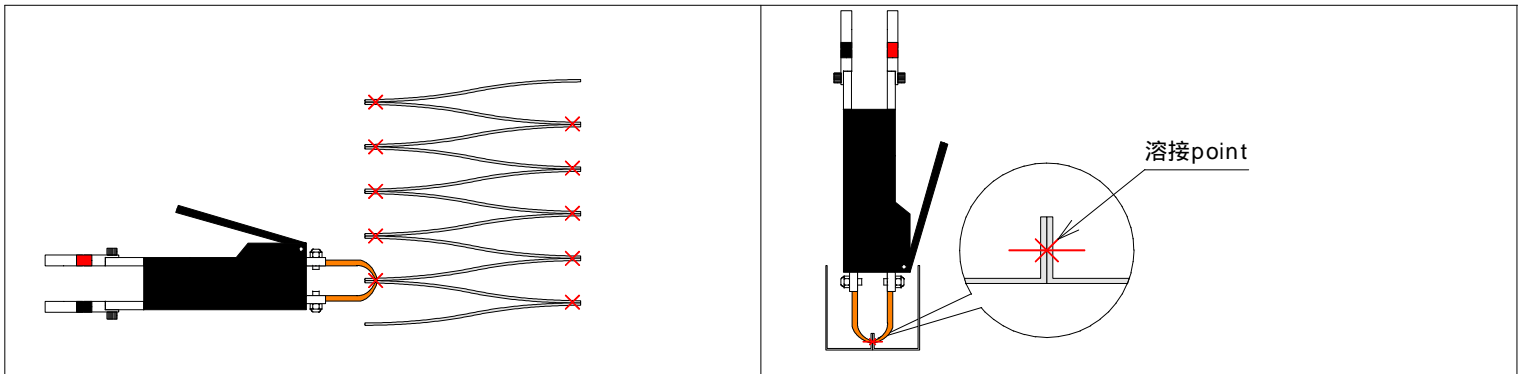
MHST-02 ベーシックなハンドセット
コンパクトな溶接ヘッドとして他種に使用可能
ホチキス感覚で使える溶接ヘッド。

システム5

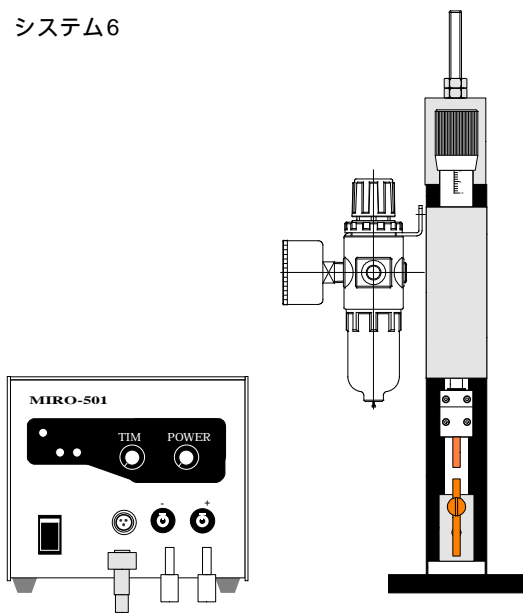


MHST-05 くちばし電極タイプのハンドセット
狭いところの溶接に便利。
模型などの細かな溶接も可能

狭いところで力を発揮！



システム6



弊社の溶接ヘッドMRHでも使用可能
安価に微細溶接をするときにはオススメ。